

## 夏休み防災未来学校2018 資料室企画のおしらせ

夏休み期間中7/21～9/2は、  
センター内で楽しいイベントが開催されます。  
資料室でも8月に企画をご用意しています。



防災ゲーム  
本気  
あそび

### 防災ゲーム 本気あそび2018

8月の毎週木・金曜日は、資料室で防災ゲームの体験ができます。大人気の防災ゲーム「なまずの学校」(NPO法人プラスアーツ発行)で、いっしょに遊んで、防災のことを考えてみましょう。



SUMMER EVENT

### 謎解き! ひとぼうツアー 2018

「ひとぼうの前の石はなに?」資料はどこで、どんなふう保存しているの? そんなギモンにお答えしながら、普段の見学コースにはない収蔵庫へ資料専門員がご案内します。

■8月25日のみ開催・要予約

### 新着資料 紹介



▲西川宏さん寄贈資料

西川宏さんは、写真家として様々な雑誌などの取材を引き受けており、阪神・淡路大震災の取材も多くされてきました。

西川さんは、多くのマスコミの取材が、震災の被害や避難所の様子などに集中しており、災害時のごく普通の市民の日常生活を撮影するべきではないかと考え、写真を撮影されてきました。その成果は、これまで写真展で公表してきました。

最近、自宅の整理を行っている中で、阪神・淡路大震災写真のリバーサルとプリントが見つかりました。この資料を保存したいと考え、当資料室に寄贈されることにしたそうです。

### 震災資料を お持ちの方に

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。「こんなものでいいのかな?と、おっしゃる方もなかにはいらっしゃると思います。寄贈できるか分からないとお考えの方や、震災後、すぐには手放せなかったものの、**震災の出来事を伝えるために活用したい**とお考えの方など、悩んだ際には、**ぜひ一度、資料室までご相談ください。**

資料室は  
無料でご利用  
いただけます



(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構  
阪神・淡路大震災記念  
人と防災未来センター 資料室  
The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial  
Disaster Reduction and Human Renovation Institution

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター西館5階  
TEL.078-262-5058 FAX.078-262-5062 URL <http://www.dri.ne.jp>  
開室時間/9:30～17:30(展示施設とは時間が異なりますのでご注意ください)  
閉室日/毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合は翌平日)  
12月29日から1月3日



阪神・淡路大震災記念  
人と防災未来センター

The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial  
Disaster Reduction and Human Renovation Institution

# 資料室ニュース



Vol.66  
2018年7月発行

## 震災資料の メッセージ 2018

### 「避難生活・仮住まいの姿」

#### 展示日程

第1期:2018年 5月29日(火)～2018年11月25日(日)  
第2期:2018年11月27日(火)～2019年 5月26日(日)

資料室では、2013年度から当センターに寄贈されている資料のうち、これまで展示されてこなかったモノ資料を中心に、毎年テーマを変えて、西館3階常設展示の一角で展示を行っています。今年度は、「避難生活・仮住まいの姿」というテーマで、主に避難所と仮設住宅での生活に焦点をあて、関係資料を紹介しています。

現在は、避難生活のなかでも、トイレのトラブルに注目し、産経新聞社神戸総局から寄贈を受けた当時使用されていたポータブルトイレを展示中です。今回は、人と防災未来センターに所蔵されている資料を使いながら、震災当時の避難所生活ではどのようなトイレの問題が起こったのかなど、詳しい情報はハンドアウトにして展示スペースで配布しています。

11月末からは、仮設住宅での日常生活を考える企画を予定しています。展示するのは、灘中央地区ボランティアから寄贈を受けた「肩たたき」と紅白の「ちょうちん」です。仮住まいは、生活の不便、慣れない人づきあい、先の見えない復興という苦労や緊張の連続でした。そのような被災者の日常生活に寄り添った物をご紹介します。

展示して終わりということではなく、ご見学いただいた方々の生の声も聞きたいと考えております。ご意見やご感想は西館5階の資料室までお願いします。

第1期  
▼  
トイレの  
トラブル

現在  
展示中!



震災時に使用したポータブル便器  
資料番号/3400267-001008

第2期  
▼  
日常生活の  
苦労と楽しみ



肩たたき  
資料番号/0000250-010018

ちょうちん  
資料番号/0000250-005225

過去の  
トライやる  
ウィークの様子



## 資料室の 年間スケジュール



皆さん、  
ぜひ遊びに来て  
下さい!

**DRI**  
The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial  
Disaster Reduction and Human Renovation Institution

5月

■ 震災資料のメッセージ  
第1期

6月

■ トライやるウィーク  
毎年、中学生が  
職場体験に来てくれます。

7月

■ 資料室ニュース刊行

8月

■ 防災ゲーム本気あそび  
2018  
■ 謎解き!ひとぼうツアー  
2018  
親子連れなど、たくさん  
来場してくれます!  
■ インターンシップ受入

9月

■ インターンシップ受入  
学生さん大歓迎です!

10月

■ 震災資料のメッセージ  
第2期

11月

■ トライやるウィーク  
大歓迎です!  
一緒に働きましょう。

12月

■ 資料室企画展開始  
今年の企画展も盛り上がるよう、  
専門員で力を合わせて頑張ります!  
■ 資料室ニュース刊行

3月

■ 資料室ニュース刊行  
年に3回発行しています。  
皆さんぜひ見て下さい!  
こんなことを記事にして欲しい!  
などの要望もお待ちしております♪

### 資料専門員の 普段のお仕事の紹介



▲震災資料の整理作業



▲ぼうさい出前授業



▲資料室所蔵資料見学の案内



去年の企画展の  
パンフレット  
今年は、どんな  
企画展になるかな?

### 資料室でよく受ける質問

Question

ここでは、  
資料室によくお問い合わせのある  
質問について取り上げます♪

Answer

**Q** 人と防災未来センターの名前は  
どうやって決まったのですか?

**A** オープンに先立って公募が行われ、それをもとに委員  
会で決められました。  
公募には県内外から7,612件の応募があり、その中  
の「人・防災未来館」を委員会で改作したのが現在の名  
称です。  
詳しくは阪神・淡路大震災記念協会編「翔べフェニッ  
クス 創造的復興への群像」(阪神・淡路大震災記念協  
会、2005年1月発行)第23章をご覧ください。

**Q** 震災で亡くなった方の名前が  
わかるものはありますか?

**A** 犠牲者6,434人全員の名前が記されているものはあ  
りません。  
新聞社が取材をもとにまとめたものとして、朝日新聞  
社編「5000人の鎮魂歌」(朝日新聞社、1995年4月発  
行)に5,472人、産経新聞大阪本社編集局編「産経新聞  
が伝えた阪神大震災3ヵ月」(ブレーンセンター、1995  
年5月発行)に5,501人の名前が掲載されています。

**Q** 阪神・淡路大震災に関する  
モニュメントの場所を知りたいです。

**A** 震災モニュメントマップCD化委員会編「震災モニュ  
メントマップCD版」(特定非営利活動法人 阪神・淡路大震  
災「1.17希望の灯り」、2010年発行)で一覧できます。また、各モニュメントにまつわる詳しいエピソード等は、震  
災モニュメントマップ作成委員会・毎日新聞震災取材班  
編著「忘れない1.17 震災モニュメントめぐり」(葉文館  
出版、2000年発行)等の書籍に掲載されています。

**Q** マンションの自治会で防災を  
担当することになりました。  
阪神・淡路大震災において、  
マンションはどのように  
復興していったのか、  
参考として知りたいです。

**A** 早期に再建・補修が完了したマンションについ  
ては、日経アーキテクチャ編「蘇る11棟のマン  
ション」(日経BP社、1997年1月発行)に、各マン  
ションの事例が詳しく書かれています。  
また、自身が居住するマンションの再建に関す  
る経緯をまとめたものとして、坂本典子編著「阪  
神・淡路大震災 被災マンション再建」(神戸新聞  
総合出版センター、2011年1月発行)や村上佳  
史著「マンション建替え奮闘記」(岩波書店、  
2006年7月発行)があります。  
修復・補強工事計画の実例を紹介しているもの  
として、西澤英和・円満洋介著「地震とマンショ  
ン」(筑摩書房、2000年12月発行)があります。  
他にもたくさんありますので、お求めの内容を  
スタッフにお伝えください。

最近、この質問が  
増えたので、  
資料室では  
「マンションと地震」という  
関連図書コーナーを  
作っています!



疑問やお問い合わせがありましたら、資料室に気軽にご連絡ください。